

野洲市大篠原地域環境保全対策委員会 令和2年度第1回会議結果

1. 開催日時 令和3年2月4日(木) 10時00分～11時45分
2. 開催場所 野洲クリーンセンター 2階研修室
3. 出席委員 市川委員長、岸本副委員長、岩佐委員、橋委員、網野委員、飯田委員 以上6名
※欠席委員なし
4. オフザーバー 滋賀県南部環境事務所 川崎所長
5. 事務局 栢木市長、武内環境経済部長、西村環境経済部次長、中原環境課長、駒本課長補佐、
原田環境課主任、南井野洲クリーンセンター所長、中井専門員、山藤専門員 以上9名
野洲クリーンセンター運営事業者3名
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
 - (1) 地域内の環境負荷施設の取り組みについて
 - (2) ばいじん処理物のダイオキシン類について
 - (3) 水銀溶出に対するばいじん処理方法について
 - (4) 周辺河川等環境モニタリング調査結果及び令和3年度モニタリング計画について
4. その他
5. 閉会

8. 会議結果

議事(1) 地域内の環境負荷施設の取り組みについて

○意見、質疑等(・各委員 →市事務局)

- ・上半期環境分析結果のダイオキシン類第2四半期分を3回測定されているのは何か理由があるのか。
- 6月にばいじん処理物のダイオキシン類について大阪湾の簡易検査で基準を超過し、最終的には公定検査で基準は下回っておりましたが、その対策として、地元のご要望を受け、通常年4回のところ8回に増やして経過観察を行っている。

議事(2) ばいじん処理物のダイオキシン類について

- ・ばいじん処理物の排出管理月報について、針金の除去など、灰の清掃を伴わない立上は1カ月に1回位実施されているのか。
- 現状では、1ヶ月から2カ月に1回位が除去の作業となっているが、ゴミの状況によって変わってくる。
- ・針金以外に何かあるのか。
- 不燃物として、燃焼装置に溜まるものを除去している。

議事(3) 水銀溶出に対するばいじん処理方法について

- ・水銀溶出に対するばいじん処理方法の説明で、キレート剤10パーセントに水銀溶出防止剤を添加した結果で、安定的に処理できていることがわかる。10パーセントと6パーセントの違いは3ページに示されており、6パーセントでも処理結果は大きく変わらない。さらに新潟県で実績があるということである。
- ・基本的には、しっかりと検討されデータも取られ提案されているので問題ないと思いますが、1つだけ水銀含有量分析を自主検査として実施して頂いており、3ヶ月ごとに今後変更しましょうということなのですが、資料6の提案No.5の自主検査報告のところでトラブルがあった時に原因をはっきりさせるために、p.13に示された自主検査の頻度に併せて水銀含有量分析も実施する必要があるのではないか。
- そのようにさせて頂く。
- ・再発防止措置計画の改正及び安定運転管理マニュアルの改正には委員会の承認が必要となる。改正についてよろしいか。(全委員了承)につき、承認された。
- ・この技術内容は、エスエヌ環境テクノロジーが力を入れて得た成果である。この施設だけの技術として考えているのか、今後多くの困っておられる施設にも公表するかと考えているのか。
- 水銀の数値が高いということで全国で困っている施設も多々あるかと思うので採用はしたい。学会に発表とまでは考えていないが、エスエヌ環境テクノロジーの技術として広めていきたいと考えている。

議事(4) 周辺河川等環境モニタリング調査結果及び令和3年度モニタリング計画について

- ・山部会委員より、タゴガエルの鳴き声を再生され、大篠原周辺は3~4センチメートル位が多く生息し、山の湧き水の所から4月末から5月初めにかけて聞こえる。春は鳴き声で判るが、秋は姿を見ないと探せない。このようなことから、生息していることは確認している。

その他

- ・自治会館前の遠隔表示について（意見あり）
- ・近隣事業所について、騒音と土砂採取について（意見あり）
- ・委員長退任にあたり、クリーンセンターの煙突の思い出等（お礼の挨拶あり）

以上